

総合計画全般

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	総合計画全般	平成23年度までは総合計画の策定義務があった。それに対する成果と反省を教えてください。平成23年度から今まで、総合計画はどのような形で推進されてきているのか。今回の策定過程では、過去の反省をどのように踏まえてきたのか教えてください。	香川公民館	昨年度、基本理念評価という形で、平成23年度から29年度に実施してきた取組や、課題として残っていることについて、基本理念、政策ごとに評価を実施し、その内容は次期の総合計画に反映している。
2	総合計画全般	総合計画が必要かどうか、仕事のやり方が合っているかなど、総合計画自体の評価が行われていないのではないかと。また、個別計画との連携がとられていないのではないかと。少子高齢化や扶助費の拡大などは現計画の策定時からわかっていたことであり、現計画の将来像が実現できているのかといった話もない中で同じような将来像を描くのでは希望がもてない。	香川公民館	個別計画も必要でなければつづらない、簡易なものでも同じ効果があるなら簡易にすることが必要と考えている。本当にこの仕事が必要なのか、本当にこのやり方がよいのかを見極めながら仕事をしたいと考えている。
3	政策目標 -行政経営 総合計画全般	行政経営がしっかりしていることが一番重要だと思う。行政に協力している市民がたくさんいるが、その人たちが対等に扱われていない、情報共有もできていない、という現状がある。そういった状況を認識すべきである。また、「行政運営の基盤の確保」に記載されている、行政サービスの質の向上、職員の資質向上などの事項について具体化するにはどうしたらよいか。これまで様々な提案をしてきたが採用されず、職員に危機感がないと感じる。本当に必要な事業は何かをしっかりと考え、行政の取組をそぎ落としていかなければならない。総合計画の策定にあたり、そういった検討をもう一度やりなおしてもらいたい。	香川公民館	行政に無償で協力している方に対して、職員は対等に対応しているつもりだとは思いますが、逆の立場で見るとそうはなっていない、というお話と感じた。様々な形でご協力いただく場面において、職員が認識を新たにしていなければならない。また、行政のやることについて本当に必要があるのか、必要があるとしてもその手法が一番よいのかという点について、市職員は常に考えながら仕事をしたいと考えている。ご意見を庁内にフィードバックしていきたい。
4	総合計画全般	大雑把なつくりだが、計画の案はそういうものなのか。	松林公民館	10年間の計画なので、計画をきっちり作ってしまうと、途中で新たな課題が出てきたときに、計画を変えなければならない。その都度、変えるのか、最初からある程度の幅を持って柔軟に対応できるような書き方しておくのか。総合計画はどちらかと言うと、後者のほうに該当するので、そういうこともあってわざと大雑把な表現にしたところがある。
5	総合計画全般	骨子はよく考えられており、色々なことがよくわかった。財政的に厳しいとお話があったが、総花的で、考えなくてはならないことの優先度がわからなかった。市として特に重要と考えていることはあるのか。茅ヶ崎市がこれからも住宅都市としてやっていけるのかが心配である。元気な高齢者にも活躍してもらうなど、消費するだけでなく、茅ヶ崎市の特徴を踏まえて、住民に生産に回ってもらうような取組ができないか。	小和田公民館	茅ヶ崎市としては、子育て世代に選んでもらえる、住み続けてもらえるまちにしたいと考えており、プロモーションを進めているところである。人口減少が進む中で、これまではあれもこれも選んでいたが、これからは、優先順位をつけていく必要があると考えている。住宅都市としてこれからもやっていけるのかというご指摘に関連して、他地域の懇談会では、観光に力をいれたいという意見もあった。
6	総合計画全般	具体的な施策に対しての意見はできるものの、総合計画は長期にわたる計画なので、一市民としてはわからないというものは正直なところである。これまでの10年間でできていないことや、次の10年で重点的にやろうとしていることを教えてください。	小和田公民館	総合計画には、多様な分野が含まれるため、これと言い切れないが、一例としていうと、保育園の整備が必要であると考えている。また、人口のアンバランスを改善する必要があると考えている。また、計画書の中身としては、今の計画は、行政のやるべきことを詳細に書き込んだ結果、情報がありすぎて、市民のみなさまとの共有という意味で弊害があったため、よりわかりやすい言葉で、方向性を共有できるものを作りたいと考えている。
7	総合計画全般 政策目標 -行政経営	主要課題と政策目標は対応しているとのことだが主要課題が8、政策目標が7と数も異なり、この対応を理解するのに時間がかかった。この課題に対してこれが対策だと、市民にもわかりやすく記述してほしい。特に知りたいのは、プライオリティである。安全・安心の確保に対する記述があまりないのが気になる。二つ目は、超高齢化社会への対策とあるが、今後急激に税収入は減る。公共施設をどうするのか。2024年前後をとて心配している。その状況と財政の状況の関係がわからない。それをしっかりと押さえてほしい。三つ目に、未来に拓く人材の育成とあり、総合計画の作成に外部の力を利用しているが、金額を3,000万円近くかけてやっている。こういう大事な仕事は、内容は十分でなくてもいいから、企画部の方が中心になってやるべきだと思う。この内容には足がなく、八方円満で、泥臭さがない。結局のところ、市としてどうしたくて、市民に何をしてもらいたいのか。また、市長の演説でも、市長の方針と総合計画の関連性がわかりにくい。	市役所(10月3日)	内容がわかりにくいという話があったが、総合計画では落としてしまう分野があってもいけないため、網羅的になってしまっている。その点については、実施計画で明らかにしたい。高齢社会の中では、人口増加の時代で提供してきたサービスがすべてでできるとは思わない。工夫していく必要があり、施設の建て替えにおける複合化なども考えていく必要があると考えている。市長の方針は、総合計画が出来た際には、その体系に沿ってつくることとなり、直接的にコメントが出ていなくても、市長の方針の柱立てはそれに沿っていると思う。
8	総合計画全般 政策目標5 政策目標 -行政経営	抽象的でどこが書いても同じではないか。中身が曖昧で、どうにでも解釈できる。難しい言葉が多く、イノベーションや地域の活性化という言葉があっても、それが何を意味しているのか、文章の前後を読んで何を言っているのかわからない。持続可能なまちづくりとは、茅ヶ崎にとって何を意味するのか、何も書いていない。市民憲章は消えてしまったのか。典型的な自然が、年々損なわれていて、ますます悪化している状況の反省が何も書かれていない。そういったことに基づいて書いたとあるが、どこに書かれているのか。自治基本条例の市民主権の仕組みをどう作っていくのかだと思う。市民参加という言葉は書かれているが、その質の評価はされていない。総合計画が形式的なものになってしまっている。本日説明があった茅ヶ崎の状況に関する資料も一緒に出して、そういったことを含めて市民が検討できるものにしてほしい。記述全体については、市民がわかるように曖昧さをなくし、定義をしっかりと、政策的に判断できるようにしていただきたい。工場誘致などの意見もあったが、茅ヶ崎らしい、身の丈にあった内容にすべきである。安心安全、市民の健康、市民参画を大切にすることが重要。	市役所(10月3日)	定義が不明確であることや、他の自治体に持っていっても通用するのではという意見が他の会場でもあり、今後、検討していく。身の丈にあった中での重点化について指摘があったが、そうしていきたい。

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
9	総合計画 全般	現在の総合計画では、5つの基本理念があり、その下に20の政策目標がある形で、それらが市役所の組織と連動しており、うまく動いていて非常に分かりやすかった。次期計画では現在の基本理念は全く継承しないのか。また、市役所の組織とは連動させないのか。一見すると、今回の計画は非常に分かりにくく感じる。令和3年から大幅な部署の統廃合等が想定されている等の理由があるのか。	ハマミーナま なびプラザ	現在の総合計画は仰る通り体系と組織を連動させており、進行管理のしやすさ、責任の明確化等の面ではメリットを感じている。一方、計画を現在まで運用している中では、策定時に体系と組織の関係を明確化したがために、新たな課題が期間中に 出た際に柔軟に動きにくい面がある。また、施策の目標に対して組織が対応しているため、現場レベルでは仕事がしにくくなっていた面が見受けられる。また、市民から、細かすぎて分かりにくいという指摘もあった。そこで次期では、将来都市像に対して7+1の政策目標に集約し、施策の体系は実施計画に任せる形を考えている。令和3年の組織改正も準備を進めているが、今回は、総合計画の体系と組織は必ずしも一致させない、一致させることにこだわらないという形で検討を進めている。
10	総合計画 全般	推定データで指針を考えるのも大事だが、自分たちが住んでいるまちと他の市町村と比較した見方を増やして欲しい。	ハマミーナま なびプラザ	(アンケート)